

国語問題

【平成31年度入学試験】

【平成31年2月24日実施】

一 次の文章を読んで後の問に答えよ。

人間は笑う動物だといわれているように、笑いは人間特有のもので、ほかの動物には笑いはありません。動物にも（Ⅰ）の感情はありましようが、それを笑いで表現することはできないのです。

可愛いペットの猫を抱いて、ソファに寄りかかりながらテレビで^図ボードビリアンのコミカルな演技を見ているとき、あまりのおかしさを猫にも見せてやろうと、抱いている猫に呼びかけて首をテレビに向けてやっても、猫はなんの感動も示さないもので、それが当たり前なのですが、もしも猫が、ニヤッハッハアと笑い出したら、そいつは猫じゃなくて化け物です。

幸いに、そういう化け物はいないから（Ⅱ）に人間だけが笑っていられるのです。

ですから、人間は誰はばかることなく笑うことができるのですが、笑えるのは人間だけだとなると、それはなぜだという問題にぶつかります。

それについて、学者たちは昔からいろいろ研究していますが、その成果をまとめてみると、人間は言葉をもっていて、感情を言葉で表現することに関係があるのだそうです。言葉も笑い声も、呼吸運動によって^aセイ帯に作用するからでしょう。

言葉あるいは行動に矛盾があると、人はそれを滑稽に感じます。滑稽だからといってかならず笑うというものではありませんが、状況によっては、とかく笑いを伴うもので、このときの笑いは、その矛盾を^bシ摘する笑いですから、笑いによって感情を表現しているのです。矛盾が小さければ微笑で済みますが、矛盾がはなはだしければ声を立てて笑うでしょう。

年齢によっても滑稽の感じ方が変わるもので、したがって笑い方も変わってきます。児童の頃でも、矛盾を批判して笑うことはできますが、その幅は狭く、むしろ（Ⅲ）に笑って育っていくもののようです。成人に近いうら若い娘さんになると、箸が転げてもおかしいという年頃があつて、肩に糸屑がついているのを見ただけで、おかしくて笑いが止まらないということもあり、男子でも同年輩の友達同士がくつたなく集まったときは、些細なおかしさでも呵々大笑、（Ⅳ）というような大笑いを不遠^cリヨに発散することができるものですが、大人になると、腹を抱えて笑い転げるというような笑い方は、理智が肥えてくるせいでしょうかしくなくなります。

これが老人になると、滑稽に感動することが少なくなるようで、つまり若い人には滑稽に思えるものでも、老人にはなんでもない、というようなことがあるもので、古川柳に「ア」^dという一句がそれをよく表現しています。

また、教養の差によっても滑稽が生じたり通用しなかったりするので、すべての学問や職業または技術などには、それぞれ、その道でよって立つべき修業があり、それを身につけることが教養なのですから、その教養のない人にとっては、そこに生じる滑稽を理解することができません。

ある専門の学者たちが、学問の中の矛盾について、禿あたまを並べておかしがつて笑っているとき私が傍にいても、その矛盾を理解することができないから私には滑稽が分ならず、^①その笑いは私には伝わらないのです。また、笑いには社会性があつて、相手がいれれば笑うけれども、一人では笑わないものです。

一人でいるとき、何かおかしいことを思い出して思い出し笑いをすることはありますが、そんなときはニヤニヤするだけで、声を立てて笑うことはしません。

（Ⅰ）A「洒落を思いついて、それを面白おかしく感じることはできても、一人で笑うことはありません。いろいろな例が続いて、キョウ縮ですが、^d「イ」^eという古川柳にあるように、社会が構成されていなければ滑稽感も起こらず、笑いも生じないのです。

部屋にいてテレビの喜劇を見ているときも、自分が一人のときは、おかしくても声を立てて笑うことはしませんが、誰かほかに一緒に見ている人がいれば、おかしい感情を笑いに表して見ることが出来ます。

（Ⅱ）B「劇場・映画館・寄席のように、大勢が集まっている所で見る滑稽演芸は、誰に気兼ねするでもなく、みんなが大口あいて高笑いするので、哄笑の合唱が場内に渦巻くので、少人数で笑うよりも楽しさが倍加されて、

気分がほぐされるものです。

このように、笑いには社会性がありますから、人と人との間には起こるけれども、一人では声を立てて笑うことはありません。

これは、人間は周囲の人々と社会を構成して生活しているからで、お互いに親しみ合い、^eユズリ合って、調和を保ちながら生活しているのですが、その蔭には、(V)というきびしい試練があつて、これに敗れると自分が敗者になるので、腹の中では自分を常に優越の立場に置きたいという願いが、大なり小なり誰にもあるものだそうです。

「C」心は常に緊張していて、自分は人に破綻を見せまいとしています。つまり人さまに笑われるようなことはすまい、と用心して1を保っているのです。その目の前で相手が何かを間違えると、この人はうつかり者だ、私ならそんなミスはしない、と思うと自分が優越の立場にあるので心の緊張がゆるみ、それが表情に伝わって、顔の筋肉がゆるんで笑顔になるのだそうです。

相手の犯した矛盾を笑っているときは、自分の方が優れているという誇りをもっているのだそうで、われわれも、人の犯した矛盾を笑うことはよくあることです。別に誇りだなんて思つてはいませんが、学者がいうには笑いは誇りだそうです。

「D」人から笑われることは、それだけ劣等の地位に引き下げられる思いがするので、1を傷つけられることになります。

ですから、人さまに笑われないように気をつけようということになるのですが、いくら気をつけていても、滑稽の対象は無限にあるので、^②破綻をみせまいとする気構えが、かえって矛盾することにもなりかねないのです。

田河水泡「滑稽の研究」による

【注】ボードビリアン コント役者や寄席芸人。

問一 傍線部a～eに相当する漢字をふくむものを、次の各群の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選んで番号で答えよ。

解答番号 a 1 b 2 c 3 d 4 e 5

a セイ	① 名声	② 精神	③ 性格	④ 均整
b シ	① 指示	② 師事	③ 支持	④ 私事
c リヨ	① 僧侶	② 捕虜	③ 思慮	④ 旅程
d キヨウ	① 近況	② 恐怖	③ 影響	④ 興味
e ユズ	① 醸造	② 土壌	③ 令嬢	④ 謙譲

問二 () I～V の入る四字熟語として適当なものを次の①～⑨のうちから選んで番号で答えよ。

解答番号 I 6 II 7 III 8 IV 9 V 10

① 日進月歩	② 抱腹絶倒	③ 起死回生	④ 奇想天外	⑤ 適者生存
⑥ 喜怒哀楽	⑦ 天下泰平	⑧ 白砂青松	⑨ 天真爛漫	

問三 「A」A～Dにはいる言葉として適当なものを次の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選んで番号で答えよ。

解答番号 A 11 B 12 C 13 D 14

- ① さらに、 ② そのために、 ③ たとえば、 ④ そのかわりに、

問四 ≪≡ア、イに入る古川柳として適当なものを次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選んで番号で答えよ。

解答番号 ア 15 イ 16

- ① 物言えば唇寒し秋の風 ② 雀の子そこのけそこのけお馬が通る ③ 松茸や人に採るらるる鼻の先
④ 生き物のやうにとらえる心太 ⑤ 屁をひつておかしくもない独り者 ⑥ なんじらは何を笑うと隠居の屁

問五 傍線部①「その笑いは私には伝わらないのです」とあるが、その理由として最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選んで番号で答えよ。

解答番号 17

- ①私は人の禿頭を笑ってはいけなと思うから。
- ②私には学問的な矛盾を理解する教養がないから。
- ③私は理智が肥えて居るのでおかしくもないから。
- ④私は破綻を見せまいと心が緊張しているから。

問六 1 に共通して入る言葉として最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選んで番号で答えよ。

解答番号 19

- ①向上心 ②羞恥心 ③自尊心 ④老婆心

問七 傍線部②「破綻を見せまいとする気構えが、かえって矛盾することにもなりかねないのです。」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選んで番号で答えよ。

解答番号 19

- ①失敗しないように用心しすぎてかえって失敗することがあり、用心しすぎる姿がおかしかったりする。
- ②人に笑われまいとする人が多い一方で人を笑わせる人が沢山いるので笑いのネタはいくらでも存在する。
- ③人に笑われまいとしても人は誰でも必ず失敗するものであるから、そこを笑おうと構えている人が多い。
- ④破綻しないように気をつけて生活をしていても、他人の誇りを傷つけて喜ぶような悪意のある人がいる。

二 次 の 文 章 を 読 ん で 後 の 問 に 答 え よ 。

私たちの社会の最大の特徴は、市場経済というものによって基礎づけられている点です。

私たちは、この市場経済を、個人を超えた強制力をもつ避けようのないもの、未来永劫つきあっているかなければならない運命のような存在だと、何となく思い込んでいますが、そうではありません。人類の歴史のなかではたかだか四〇〇年の歴史しかもたない、新参者のシステムなのです。

ということは、はじまりがあるのですから、終わりもあるといえます。しかし、いまではこのシステムが社会の隅々にまでスキなく入り込んでしまっているのです、まるで歴史的必然であるかのように誤解されているのです。

では、そのような市場経済が何によって成り立っているかという点、「人間」「自然」「貨幣」の三つの要素です。市場において、この三つを交換、生産、あるいは消費することによって成り立っているシステムが、現在の資本主義社会なのです。

そして、ここから私たちの社会の問題点を考えていくときに非常に重要なことなのですが、この三つは、本来はどれも商品化できないものなのです。

まず、「人間」。

これは別の言葉でいうと労働力のことですが、生きものですから、そもそもモノとして扱うには無理があります。能力にばらつきがありますし、休息も必要ですし、病気もします。しかし、いちおうの考え方として、資本家と契約を結んで労働力を提供し、その対価として賃金が支払われるという仕組みが作られたのです。

ここにも、当初はゆとりのようなものが多少考慮されていました。労働はナマものですから、無駄も出ますし、割増し料金的なものが必要になるときもある、と。しかし、時を経るほどに合理性と効率性がきびしく追求されるようになり、余計なものを極限まで削ぎ、コスト削減して、さらにこちらがダメならあっちでと、いくらかでも代替がきくようなシステムを作りあげたのです。

人間を労働力として使うにしても、かつては、同時に個人の能力を開発するという思想があって、その考え方は少なくとも一九七〇年代ぐらいまでは存在していました。しかし、それが ^aシ第に崩れ、やがて完全に貨幣でカウントされるものになってしまいました。いまでは、労働力は世界中のどこの国の倉庫にも並んでいて、国境を越えて自在に ^bチヨウ達できるといった考え方になっています。このような事態は、歴史上いずれの時代にもなかったことです。

続いて、「自然」です。

これも、①本来商品化するのはおかしいのです。最もわかりやすい例は土地で―私は子供のころ、なぜ人に土地の所有権があるのだらうと、素朴に疑問を感じたことがあります―、有限であるそれを何度も切り売りして利益を得るなどは明らかに奇妙です。にもかかわらず、私たちはこの“地価資本主義”をどんどん発展させ、その結果、バブル崩壊に見られるような手痛い挫折を経験することになり、いまでもその後遺症に悩まされているのです。

自然を商品化することの弊害としては、石炭や石油といったエネルギー資源の問題もあります。ここを誤ると当然、生態系を破壊することになり、地球全体の危機を招きます。石炭を採りつくし、石油も採りつくしたら、さて次はどこから採らう？という場当たり的な発想の果てに、われわれは原子力に目をつけたのです。

そして三番目、「貨幣」です。

いうまでもなく、それは生産活動の元手であり、また商品交換の媒介をするツールであつたのに、貨幣自体が「マネー」と呼ばれる金^c、^cユウ商品として世界中を駆けめぐることになったのは、一九七三年、第四次中東戦争で石油価格が暴騰し、世界の主な通貨が変動相場制に移ったとき以降とっていいでしょう。それ以後、資本が自由化し、さまざまな株式投資やヘッジファンドと呼ばれるグローバルマネーのゲームが展開され、世界経済の動向はこれに大きく左右されるようになりました。

数年前に世界中を^dシン撼させた^dリーマンショックも、目下、ヨーロッパに不^eオンな気配を漂わせている金ユウ危機も、②もとをたどれば七三年の変動相場制にその要因があつたのです。私たちはすでにいまの状況に慣れきつていて、資本主義といえばマネー資本主義のことだと思つてしまつていますが、たかだか四〇年で、そう思わせるほどにマネー資本主義が浸透してしまつたということです。

このように、私たちの社会は、まさに隅々まで市場化しています。社会イコール市場となつた、あるいは、市場のなかに社会が完全に組み込まれたといえます。そのなかで、もともとは商品になりえなかつたはずの三つのものの^d擬制的な商品化が、極限まで進んだのです。そして、そのようなぎりぎり極限の資本主義システムのなかで原発が作られ、そこに震災が起こり、原発事故の惨事につながつたのです。

これは偶然であり、ある一つの自然現象が、歴史のなかでたまたま限界に来ていた社会のシステムと重なつてしまつたともいえます。しかし、まったく同じ規模の地震が同じ場所に起きたとしても、③四、五〇年前であれば、これほどの惨事にはなつていなかったはずですが、

姜尚中

「続 悩む力」による

注 リーマンショック

二〇〇八年、アメリカのリーマン投資信託銀行の破綻を契機とする世界的な金融不安から起こつた世界的な不況。

注 擬制的な

みせかけの

問一 傍線部 a～e に相当する漢字をふくむ熟語を、次の①～⑨のうちから選んで番号で答えよ。

- ①余震 ②穏当 ③資産 ④郵便 ⑤調律 ⑥融解 ⑦超越 ⑧次善 ⑨音信

a 20 b 21 c 22 d 23 e 24

問二 ごく最近の労働や労働力についての筆者のとらえ方として最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選んで番号で答えよ。

解答番号 25

①労働力を機械の部品のように代替可能と考え、合理性と効率化が重要視され、労働者の人間性や個性などは考慮されていない。

②一見無駄に見える余分な人員やゆとりをあらかじめ設けておいて、労働者の病気などの不測の事態に備えている。

③何の技術も持たない新入社員を、一人前の技術者になるように時間を掛けて会社で育成し、会社の戦力にしていく。

④労働者は労働力を提供し、その対価として資本家は賃金を支払うという契約を結ぶので資本家が得をするようになった。

問三 傍線部①のように、筆者は「本来商品化するのとはおかしいのです。最もわかりやすい例は土地で」というが、その理由として最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選んで番号で答えよ。 解答番号 26

- ①土地に値段を付けて繰り返し取引するのは生産したモノを売る資本主義から見ると不正なやり方だから。
- ②土地は人間の手で生産した訳ではないので、本来すべて国有であるべきで、個人の所有は認められないから。
- ③原始時代に誰の物でもなかった土地に、所有権を設定しそれを繰り返し転売することはおかしいことだから。
- ④土地はすべて共有地であるし、生態系を守るという意識を持つと、売買することは厳に慎むべきであるから。

問四 傍線部②「もとをたどれば七三年の変動相場制にその要因があった」とあるが、筆者はどういう点に問題があったかといっているか。最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選んで番号で答えよ。 解答番号 27

- ①本来、商品交換の媒体であったお金が、商品そのものになって貨幣で貨幣を買って儲かるシステムになってしまった点。
- ②東西冷戦が終わるとともに、全世界にグローバルマネーのゲームが展開され、資本主義と共産主義の区別がなくなった点。
- ③第四次中東戦争以降、石油の値段が高騰したために原子力発電所が作られて、石油の取り引きが少なくなった点。
- ④変動相場制によって「人間」「自然」「貨幣」の三つを交換、生産、消費することが容易にはできなくなった点。

問五 傍線部③に「四、五〇年前であれば、これほどの惨事にはなっていなかったはずですよ」とあるが、このように言う理由として最も適当なものを次の①～④のうちから一つ選んで番号で答えよ。 解答番号 28

- ①当時は商品になりえなかったはずの「人間」「自然」「貨幣」商品化が極限まで進んではいなかったから。
- ②当時は原発の安全性に対する意識が現在より高く、当時の社会は隅々まで市場化してしまっていたから。
- ③当時は石炭や石油などのエネルギー資源が枯渇することをおそれて、絶対的安全性の高い原発を作ったから。
- ④当時は市場のなかに社会が完全に組み込まれた状況にあり、原発もまだ新しく、安全であったかったから。

三 次のそれぞれの文の(A)～(E)に適切な言葉を入れて整合性のある文として完成させよ。

答えは、それぞれの①～④の中から選んで番号で答えよ。

解答番号 A 29 B 30 C 31 D 32 E 33

○文のねじれについての
専門家の意見を詳しく聞いたけれど (A)

- ①よくできていた。
- ②よく知っていた。
- ③よく分かった。
- ④よく分からなかった。

○これほど歓迎していただけたとは (B)

- ①お礼を申し上げます。
- ②予想どおりでした。
- ③思ってもいませんでした。
- ④なるほど感じます。

○わざわざ遠くから来たのに (C)

- ①先生に会えなかった。
- ②先生に会えた。
- ③先生は元気だった。
- ④うれしい面会だった。

○事故でバスが遅れたので

(D)

- ①授業に間に合った。
- ②授業に遅刻してしまった。
- ③授業は遠かった。
- ④授業があります。

○かなり努力はしたけれど、たいした結果は(E)

- ①得られるだろう。
- ②得られたはずだ。
- ③得られなかった。
- ④得られた。

四

次のア～キの熟語に対応する類義語として適当なものを後の語群①～⑨から選んで記号で答えよ。

- ア 安寧 イ 肯定 ウ 庶民 エ 墨守 オ 才逐電 カ 克明 キ 傾倒 解答番号ア 34 イ 35 ウ 36 エ 37 オ 38 カ 39 キ 40
- (語群) ① 是認 ② 充電 ③ 大衆 ④ 夢中 ⑤ 丹念 ⑥ 出奔 ⑦ 堅持 ⑧ 発起 ⑨ 平穩

五

次のA～Eの()に語群①～⑨から適語を補って各慣用句を完成させよ。 答えは、語群の番号で答えよ。

- A 渡りに()。 B 焼け石に()。 C () に短し()に長し。 解答番号A 41 B 42 C 43 D b 44 E 45
- D 糠に()。 E 青菜に()。 (語群) ① 塩 ② 帯 ③ 真珠 ④ 釘 ⑤ 雨 ⑥ 水 ⑦ 芋 ⑧ 舟 ⑨ 小判

六

次のA～Gについてそれぞれ答えよ。

解答番号A 46 B 47 C 48 D 49 E 50 F 51 G 52

A 森鷗外 の作品として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで番号で答えよ。

- ① 測量船 ② 麦と兵隊 ③ 太陽のない町 ④ 阿部一族

B 泉鏡花 の作品として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで番号で答えよ。

- ① 黒い雨 ② 金色夜叉 ③ 高野聖 ④ 榆家の人々

C 島崎藤村 の作品として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで番号で答えよ。

- ① 破戒 ② 田舎教師 ③ 火の柱 ④ 春琴抄

D 夏目漱石 の作品として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで番号で答えよ。

- ① 明暗 ② 蟹工船 ③ 或る女 ④ 津軽

E 永井荷風 の作品として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで番号で答えよ。

- ① たけくらべ ② 伊豆の踊子 ③ 人間失格 ④ ふらんす物語

F 芥川龍之介 の作品として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで番号で答えよ。

- ① 桜島 ② 一握の砂 ③ 鼻 ④ 不如帰

G 谷崎潤一郎 の作品として適当なものを次の①～④の中から一つ選んで番号で答えよ。

- ① 暗夜行路 ② 細雪 ③ 地獄変 ④ 雪国